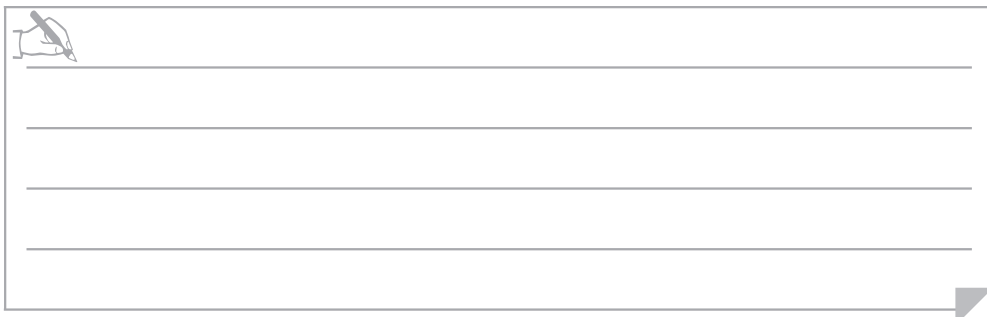
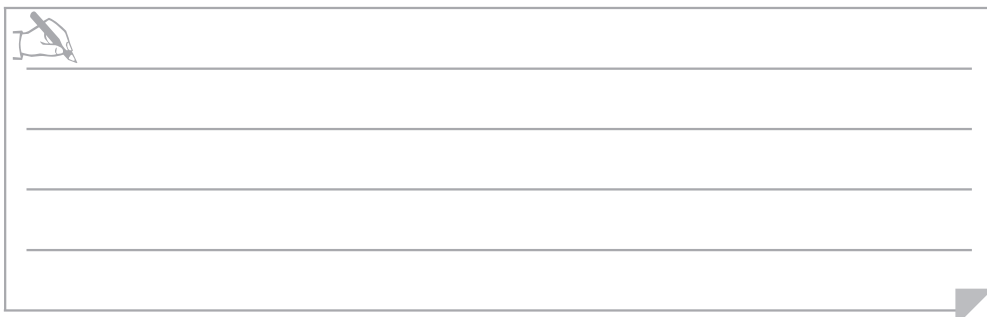




Q8 「偶発性の最小限化」は世界の舞台を目指すアスリートの発掘・育成においてどのような意味や意義を持っていると思いますか。➡25～27ページ



Q9 順位に関係なくチャンピオンになれるようなトップアスリートを育成することの社会的な意義は何ですか。➡27～28ページ



Q10 「ロードマップ」や「文化・教育プログラム」などの事例を参考に、これからのアスリートの育成に必要な観点や要素・内容、それを実践する際の指導者の役割について挙げてみましょう。➡28～30ページ

観点・要素・内容	指導者の役割
	

「望ましい公認スポーツ指導者」

スポーツ指導者は、スポーツに関わる人々のさまざまな欲求に対し適切にサポートしていくことが求められている。

そのために指導者は、専門的な知識・技能や高いコーチング能力だけでなく、少なくとも次のような点に対応していくことが求められる。

- ① コミュニケーションスキルを身につけ、「プレイヤーの話を聞く」、「叱るより良い点を誉めて伸ばす」、「教えすぎずプレイヤーに考える力をつけさせる」、「責任を持たせる」など、プレイヤーのやる気と自立心を育てるためのサポートをする。
- ② スポーツマンシップとフェアプレイに代表されるマナー、エチケットなど道徳的規範を身につけさせるためのサポートをする。
- ③ プレイヤーが明確な目標を設定できるようにサポートする。
- ④ スポーツを継続できるようにサポートする。

- ⑤ スポーツとの出会いをコーディネートする。
- ⑥ スポーツ仲間をつくるためのサポートをする。
- ⑦ 快適なスポーツライフを構築するための方法や内容についてのサポートをする。
- ⑧ 長期一貫指導システム(競技者育成プログラム)の理念と方法を理解し、個々人の年齢、技能、要求にあったその年代における最適な指導を行う。
- ⑨ メディカル・コンディショニングスタッフ、マネジメントスタッフなどと協力し、プレイヤーに対し最適な環境を提供する。
- ⑩ 自ら研鑽に努め社会に評価される指導者を目指す。

このような、多様なニーズに的確に対応できる指導力を身につけた指導者こそ望ましい公認スポーツ指導者なのである。